福智町の自然と魅力が豊かな

世代CAMP

故郷の幸せを願う「7世代 CAMP」。 キャンプ場の挑戦への熱い思いを紹介し 今できる [まちづくり] について考えます。

世代キャンプ

オ

ナ

目で高なか

将博さん

広がる魅力と未来への可能性

少しでも関心をもち関わることが

大事」と危機感を募らせる日髙さん。

今年で「7世代CAMP」はオ

で2022年12月にオープンした を盛り上げていきたい」そんな思 「7世代CAMP」。 さや魅力をみなさんに広めて、 故郷である福智町の素晴ら 町

東京などの県外のかたやフランス、

ストラリア、

韓国などの海外

ブンして3年が経ちます。

大阪や

化を感じてもらうため、 ショップなどを実施していませな町の資源を使った体験型ワ 園風景を望むことができるほ 風景を望むことができるほか福智山の雄大な姿と広大な田 福智町の素晴らしさや生活文 自然豊か ク

語る日髙さん

への愛が

楽しんでもらい、

また来たいと思

人を増やしたい」と今後の思いを

野焼など福智町ならではの魅力を ンプ場に訪れたかたには温泉や上 のかたも足を運んでいます。「キャ

様々な課題を抱えています。 方々を始め多くのかたの協力、 ができたのは地元である草場地域の に私たち一人ひとりがまちづくりに 町の豊かな資源や未来を守るため いる人口や農地の遊休地増加など し、そんな福智町も年々減少して て福智町の魅力があってこそ。 「こうした素晴らしい 福智 そし しか

。 **5** 7











福智

の未来を切り拓く

魅力が溢れるキャンプ場から

Interview FIWC九州 部長 中森 日菜子さん「福智だから始めたまちづくり」 ——



福智町は私が思う田舎とは違い、地域のかたとの交流 で生活文化や自然に魅せられ、この町のために何かできな いかと考えるようになりました。これからは町に溶け込み、 一緒に考え行動していく「ワークキャンプ」を行い、私たち の元気や新しい視点をまちづくりに生かしていきたいです。



上野焼で上質な蕎麦を提供する

そば屋 こだるま

「上野焼」との運命的な出会いが生んだ 福智山の麓にある聖地「そば屋こだるま」。 町とともに挑む店主山岡さんに迫ります。

そば屋こだるま 店主

山岡良さん

福智の魅力が引き寄せた決意

の渡 仁さんとの橋渡しをしたこと 焼に興味を持つパリの料理人と渡窯 焼の器を使っており、ある日、 修業した後、 福智町へと移住し蕎麦屋をオ をきっかけに、上野焼との縁を感じ、 10年間、蕎麦職人として腕を振って た山岡さん。レストランでは上野 高橋邦弘さんの下で7年以 リの有名日本食レストランで 神様と呼ばれるそば打ち 28歳でフランスへ渡

することを決意しま 蕎麦を通じて多くのかたに知ってほ のはありがたい経験。みなさんが守 器をはじめ、 家を改装した店舗では、 しい」と感謝を語る山岡さん。 にそばの魅力を伝えることができる た。自然豊かな上野の地で多くの人 かたがたからのサポ 大切にしてきたこの町の良さを 「そば屋を開業するまでに多くの 福智の四季を感じら トがありまし

さんの目には福智町の明るい未来になれるよう頑張りたい」と山岡して私の挑戦がまちづくりの一助 ラー (特徴)を出していきたい。 合わせ、ほかのそば屋にはないカ 「今後も蕎麦と町の魅力を掛け そ



感じてもらいたい。その思いが店づ

蕎麦とともに福智の魅力を

くりの原点となっています。

れる雰囲気づくりにもこだわって



上野焼の古民





3

4



Interview 渡窯 渡 仁さん「ともに町を思い取り組むまちづくり」

山岡くんとの出会いは、2012年の春の 陶器まつりでした。露店でひたむきに蕎麦 を打つ真摯な姿に心を打たれたのを今でも 覚えています。そして、3年前にパリで働 く彼から電話があり、迷わず「福智町でそ

ば屋をしないか」と声を掛けました。その 後、「そば屋こだるま」を開業。これからは 彼の挑戦を後押しするために上野焼の魅 力発信やまちづくりへの取り組みに努め、 ともに福智町を盛り上げていきたいです。



まちづくりへの挑戦が始まる

県外からも集う 「そば屋」

9 | FUKUCHI